



Daiwa House®  
Group

報道関係各位

N e w s L e t t e r

2022年1月28日

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 芳井敬一  
大阪市北区梅田 3-3-5

## 研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」が 「ウッドデザイン賞2021」を受賞しました

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」が、「ウッドデザイン賞2021」※1を受賞しましたのでお知らせいたします。

同賞において、当社は3度目の受賞となります。

※1. 特定非営利活動法人活木活木森ネットワーク、公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所で構成される「ウッドデザイン賞運営事務局」が主催。林野庁の補助事業となります。

2015年に開始したウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取り組みについて、特に優れたものを消費者目線で評価する顕彰制度です。これによって“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。今回は計191作品が受賞しました。



### <ウッドデザイン賞2021 ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野>

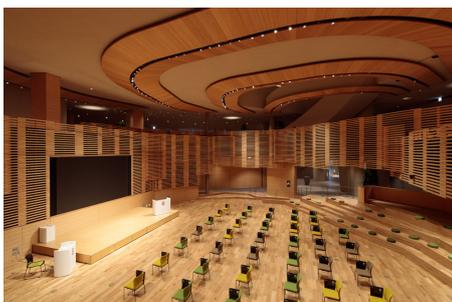
#### ■「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」について

「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」は、施設の計画コンセプトを“森の会所”として掲げ、施設の内外装に多くの木材を採用しました。

施設中央にあるホールでは、吉野杉などの奈良県産材をふんだんに採用しました。また、特別迎賓室「丹生庵」には春日大社境内の風倒木（杉）を利用した立礼卓（りゅうれいじょく）※2とテーブルを配置。さらに構造体には、奈良県産の集成材を座屈拘束材に用いた「木鋼ハイブリッドブレース」や同じく奈良県産の集成材を耐火被覆に用いた「木鉄ハイブリッド耐火柱」※3を採用しました。

※2. 外国の要人を招くために考案された、お茶席をテーブル式で行える茶道具（机）のこと

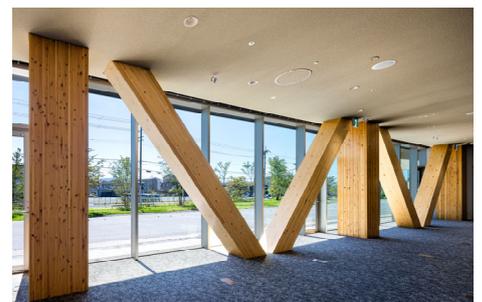
※3. 日本製鉄株式会社が開発した1時間耐火構造柱



吉野杉によるルーバーを採用したホール



春日大社の風倒木を利用した立礼卓（左）とテーブル（右）



木鋼ハイブリッドブレース（筋交い）  
木鉄ハイブリッド耐火柱（柱）

### ●評価されたポイント

木の生命感を大事にしたというホールでは、杉ルーバーを赤味から白太にかけてグラデーションのように並べており、その表情の豊かさに驚かされる。立地周辺の材にこだわり、原木購入から製材、加工、組立の全工程に設計施工者が関わるといった、プロセスのデザインも秀逸である。

今回の受賞を励みに、今後も当社は高品質な木造建物の供給や技術開発、木材利用を進めることで、心豊かに生きる暮らしと社会の実現を目指します。

### ■研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」(ニュースリリース)

<https://www.daiwahouse.com/about/release/house/20210928102116.html>

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06 (6342) 1381
	東京広報グループ	03 (5214) 2112